

## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6069 URL <https://www.trenders.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 涼子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 田中 隼人 TEL 03-5774-8876  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月8日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	9,088	38.6	1,011	70.4	1,022	72.7	708	77.3
2022年3月期	6,557	96.7	593	29.7	591	28.3	399	28.3

（注）包括利益 2023年3月期 693百万円（73.6%） 2022年3月期 399百万円（28.3%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	98.68	92.71	23.0	20.2	11.1
2022年3月期	55.96	53.56	15.2	13.9	9.0

（参考）持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	5,428	3,377	62.2	469.16
2022年3月期	4,711	2,792	59.2	388.85

（参考）自己資本 2023年3月期 3,375百万円 2022年3月期 2,789百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△0	△86	△7	1,513
2022年3月期	342	△44	△99	1,607

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00	114	28.6	4.3
2023年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00	158	22.3	5.1
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	26.00	26.00	—	—	—

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,215	△31.6	1,150	13.7	1,150	12.5	780	10.0	108.59

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）株式会社MimiTV

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2023年3月期	7,628,800株	2022年3月期	7,608,000株
2023年3月期	433,785株	2022年3月期	433,685株
2023年3月期	7,182,956株	2022年3月期	7,143,906株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	9,069	62.8	1,015	780.1	1,033	435.6	1,140	716.9
2022年3月期	5,570	93.9	115	△47.0	192	△27.9	139	△22.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	158.82	149.21
2022年3月期	19.55	18.71

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	5,439	3,389	62.3	470.72
2022年3月期	4,327	2,371	54.7	330.20

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,386百万円 2022年3月期 2,368百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当社グループが属するインターネット広告市場は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった中でも社会のデジタル化にともなって着実な成長を続け、2022年の市場規模は3兆912億円（前年比14.3%増）となり、日本の総広告費の43.5%を占めております。また、2022年の日本の総広告費は前年比4.4%増の7兆1,021億円で、調査が開始されてから過去最高となりました。（※1）インターネット広告が、広告市場全体を支え、牽引している状況といえます。

インターネットが社会全体のインフラとなっている現在、インターネットでアクセスできる各種プラットフォームやWebサイト、Webサービス等は、生活者にとって欠かせない情報源であり、中でも、多種多様なアカウントより発信される情報をリアルタイムで入手できるSNSは、生活者の意識や購買行動に与える影響力を増しております。企業においてもSNSを活用したマーケティングに注力する動きが加速しており、2023年のソーシャルメディアマーケティングの市場規模は、前年比17.0%増の1兆899億円と拡大する見込みです。（※2）

（※1）出典：株式会社電通「2022年 日本の広告費」

（※2）出典：サイバー・バズ/デジタルインファクト調べ

こうした環境のもと、当社グループにおいては、顧客企業及び生活者のニーズに合致するSNSを軸としたデジタルマーケティングソリューションの開発・提供に注力いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	9,088,552千円	（前期比38.6%増）
営業利益	1,011,402千円	（前期比70.4%増）
経常利益	1,022,238千円	（前期比72.7%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	708,820千円	（前期比77.3%増）

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### ①マーケティング事業

マーケティング事業は、「マーケティングソリューション領域」「ブランド・メディア開発領域」「メディカルビューティー領域」の3領域から構成されます。各領域の内容は以下の通りであります。

<マーケティングソリューション領域>

主に美容・食品飲料カテゴリの顧客企業に向けたSNSマーケティング支援

<ブランド・メディア開発領域>

自社メディアの運営と化粧品品の輸入販売

<メディカルビューティー領域>

美容クリニック専売品の開発・販売とクリニックの総合プロデュース・運営支援

本事業においては、引き続き旺盛なSNSマーケティング需要を背景として、マーケティングソリューション領域のインフルエンサーサービスと美容メディアであるMimiTV等が好調に推移してまいりました。また、当該サービスとの連携強化及び複数の特定代理店との取引増加により、SNS広告の取扱額も拡大いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	8,359,495千円	（前期比28.8%増）
セグメント利益	938,167千円	（前期比45.3%増）

#### ②インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、非上場会社等への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益と、投資事業有限責任組合出資持分の譲渡による収益が発生いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	729,057千円	（前期比－%増）
セグメント利益	188,192千円	（前期比256.2%増）

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における総資産は5,428,668千円（前連結会計年度比717,092千円増加）となり、流動資産合計5,165,854千円、固定資産合計262,814千円となりました。総資産増加の主な要因としては、売上高の増加に伴う売掛金の増加、社債及び非上場株式を取得したことによる営業投資有価証券の増加があげられます。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金1,513,712千円、売掛金1,248,792千円、営業投資有価証券2,157,577千円です。

固定資産の内訳は、有形固定資産52,751千円、無形固定資産72,761千円、投資その他の資産137,301千円です。

## (負債)

当連結会計年度末における負債は2,050,724千円（前連結会計年度比131,361千円増加）となり、流動負債合計2,031,122千円、固定負債合計19,602千円となりました。負債増加の主な要因としては、未払消費税等の減少があった一方で、売上高の増加に伴い売上原価が増加したことによる買掛金の増加、未払法人税等の増加、及び短期借入金の増加があげられます。

流動負債の主な内訳は、買掛金698,288千円、短期借入金800,000千円、未払消費税等31,910千円です。

固定負債の内訳は、資産除去債務19,602千円です。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産は3,377,943千円（前連結会計年度比585,730千円増加）となりました。主な内訳は、資本金568,365千円、資本剰余金548,854千円、利益剰余金2,571,137千円です。純資産増加の主な要因としては、配当金の支払いがあった一方で、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことがあげられます。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,513,712千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は109千円（前年同期間は342,644千円の獲得）となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益を973,559千円計上した一方で、営業投資有価証券の410,487千円増加、売上債権の246,726千円増加、消費税等の納付による未払消費税等の307,081千円減少、法人税等の支払額が198,308千円あったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は86,401千円（前年同期間は44,317千円の使用）となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出55,837千円、貸付による支出30,499千円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7,611千円（前年同期間は99,372千円の使用）となりました。この主な要因は、短期借入金の借入による収入100,000千円があった一方で、配当金の支払い114,396千円があったことによるものであります。

（4）今後の見通し

（2024年3月期の業績予想）

【売上高】

＜マーケティング事業＞

2024年3月期より、マーケティング事業の一部取引について、契約内容の変更に伴い、売上高をグロス（総額）計上からネット（純額）計上へと変更致します。

そのため、マーケティング事業の売上高は6,021百万円（前期比28.0%減）となる見込みです。

なお、比較可能性の観点から、グロス計上、ネット計上にそれぞれ置き換えた売上高及び前期比は以下となります。

- ・グロス売上高 9,773百万円（前期比16.9%増）
- ・ネット売上高 6,021百万円（前期比27.0%増）

＜インベストメント事業＞

社債の受取利息に加え、株式の売却を1件予定していることから、売上高は194百万円（前期比73.4%減）を見込んでおります。

以上により、連結売上高は6,215百万円（前期比31.6%減）と予想しております。

【各段階利益】

新中期経営目標（2026年3月期までに営業利益20億円）の達成に向け、美容マーケティング領域・メディカルマーケティング領域へ積極的に投資をしつつも、事業の成長に伴う売上総利益の増加により、営業利益は1,150百万円（前期比13.7%増）、経常利益は1,150百万円（前期比12.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は780百万円（前期比10.0%増）と予想しております。

以上の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績はさまざまな不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,607,873	1,513,712
受取手形	—	2,750
売掛金	1,004,816	1,248,792
営業投資有価証券	1,762,094	2,157,577
商品	22,656	38,826
仕掛品	29,389	33,246
その他	35,570	172,216
貸倒引当金	△1,018	△1,267
流動資産合計	4,461,382	5,165,854
固定資産		
有形固定資産		
建物	70,811	70,811
減価償却累計額	△21,029	△26,569
建物 (純額)	49,782	44,242
工具、器具及び備品	50,865	50,098
減価償却累計額	△40,462	△41,589
工具、器具及び備品 (純額)	10,402	8,509
有形固定資産合計	60,185	52,751
無形固定資産		
のれん	25,241	20,193
ソフトウェア	77,887	37,601
その他	181	14,966
無形固定資産合計	103,310	72,761
投資その他の資産		
敷金	58,999	61,403
長期貸付金	—	30,099
繰延税金資産	27,697	45,798
投資その他の資産合計	86,696	137,301
固定資産合計	250,193	262,814
資産合計	4,711,576	5,428,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	506,910	698,288
短期借入金	700,000	800,000
未払法人税等	121,080	219,823
契約負債	20,845	25,811
未払消費税等	338,991	31,910
その他	211,985	255,289
流動負債合計	1,899,813	2,031,122
固定負債		
資産除去債務	19,550	19,602
固定負債合計	19,550	19,602
負債合計	1,919,363	2,050,724
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	564,855	568,365
資本剰余金		
資本準備金	239,471	242,981
その他資本剰余金	305,873	305,873
資本剰余金合計	545,344	548,854
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,977,106	2,571,137
利益剰余金合計	1,977,106	2,571,137
自己株式	△297,551	△297,714
株主資本合計	2,789,754	3,390,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△15,004
その他の包括利益累計額合計	—	△15,004
新株予約権	2,458	2,305
純資産合計	2,792,212	3,377,943
負債純資産合計	4,711,576	5,428,668



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	6,557,825	9,088,552
売上原価	4,626,763	6,468,039
売上総利益	1,931,062	2,620,512
販売費及び一般管理費	1,337,663	1,609,109
営業利益	593,398	1,011,402
営業外収益		
助成金収入	3,240	17,252
受取管理料	1,450	—
雑収入	936	701
その他	11	90
営業外収益合計	5,638	18,044
営業外費用		
支払利息	7,244	6,983
その他	1	224
営業外費用合計	7,245	7,208
経常利益	591,790	1,022,238
特別利益		
新株予約権戻入益	34	80
事業譲渡益	—	4,755
特別利益合計	34	4,836
特別損失		
減損損失	—	53,515
特別損失合計	—	53,515
税金等調整前当期純利益	591,824	973,559
法人税、住民税及び事業税	196,374	283,094
法人税等調整額	△4,318	△18,354
法人税等合計	192,056	264,739
当期純利益	399,768	708,820
親会社株主に帰属する当期純利益	399,768	708,820

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	399,768	708,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△15,004
その他の包括利益合計	—	△15,004
包括利益	399,768	693,815
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	399,768	693,815
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	561,192	540,192	1,688,153	△304,383	2,485,155
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△4,160	—	△4,160
会計方針の変更を反映した当期首残高	561,192	540,192	1,683,993	△304,383	2,480,994
当期変動額					
新株の発行	3,662	3,662	—	—	7,324
剰余金の配当	—	—	△106,655	—	△106,655
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	399,768	—	399,768
自己株式の取得	—	—	—	△28	△28
株式交付による増加	—	1,489	—	6,860	8,350
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	3,662	5,152	293,113	6,831	308,759
当期末残高	564,855	545,344	1,977,106	△297,551	2,789,754

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	2,492	2,487,647
会計方針の変更による累積的影響額	—	△4,160
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,492	2,483,487
当期変動額		
新株の発行	—	7,324
剰余金の配当	—	△106,655
親会社株主に帰属する当期純利益	—	399,768
自己株式の取得	—	△28
株式交付による増加	—	8,350
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△34	△34
当期変動額合計	△34	308,725
当期末残高	2,458	2,792,212

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	564,855	545,344	1,977,106	△297,551	2,789,754
当期変動額					
新株の発行	3,510	3,510	—	—	7,020
剰余金の配当	—	—	△114,789	—	△114,789
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	708,820	—	708,820
自己株式の取得	—	—	—	△162	△162
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	3,510	3,510	594,031	△162	600,888
当期末残高	568,365	548,854	2,571,137	△297,714	3,390,642

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	—	—	2,458	2,792,212
当期変動額				
新株の発行	—	—	—	7,020
剰余金の配当	—	—	—	△114,789
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	—	708,820
自己株式の取得	—	—	—	△162
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△15,004	△15,004	△153	△15,157
当期変動額合計	△15,004	△15,004	△153	585,730
当期末残高	△15,004	△15,004	2,305	3,377,943

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	591,824	973,559
減価償却費	24,267	35,217
のれん償却額	1,987	5,048
減損損失	—	53,515
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	213	248
受取利息及び受取配当金	△8	△8
支払利息	7,244	6,983
事業譲渡損益 (△は益)	—	△4,755
新株予約権戻入益	△34	△80
助成金収入	△3,240	△17,252
売上債権の増減額 (△は増加)	△413,003	△246,726
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△17,772	△19,670
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△247,065	△410,487
仕入債務の増減額 (△は減少)	253,064	191,377
未払消費税等の増減額 (△は減少)	248,075	△307,081
その他資産の増減額 (△は増加)	△28,861	△133,765
その他負債の増減額 (△は減少)	94,283	60,983
小計	510,977	187,106
利息の受取額	8	8
利息の支払額	△7,244	△6,983
助成金の受取額	3,240	17,252
法人税等の支払額	△164,336	△198,308
法人税等の還付額	—	816
営業活動によるキャッシュ・フロー	342,644	△109
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,415	△3,040
無形固定資産の取得による支出	△23,753	△55,837
貸付けによる支出	—	△30,499
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△16,212	—
事業譲渡による収入	—	5,000
敷金の回収による収入	63	—
敷金の差入による支出	—	△2,404
その他	—	380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,317	△86,401
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額	—	100,000
株式の発行による収入	7,324	6,947
配当金の支払額	△106,668	△114,396
自己株式の取得による支出	△28	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,372	△7,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	198,954	△94,161
現金及び現金同等物の期首残高	1,408,919	1,607,873
現金及び現金同等物の期末残高	1,607,873	1,513,712

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの報告セグメントは「マーケティング事業」「インベストメント事業」から構成されており、各セグメントに属する事業の種類は以下のとおりであります。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各セグメントに属する製品及びサービスの内容は、下記のとおりであります。なお、マーケティング事業のメディカルビューティー領域は、当連結会計年度より事業を開始いたしました。

報告セグメント	属する製品及びサービスの種類
マーケティング事業	<マーケティングソリューション領域> 主に美容・食品飲料カテゴリの顧客企業に向けたSNSマーケティング支援 <ブランド・メディア開発領域> 自社メディアの運営と化粧品品の輸入販売 <メディカルビューティー領域> 美容クリニック専売品の開発・販売とクリニックの総合プロデュース・運営支援
インベストメント事業	非上場会社等への投資

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成の基礎となる会計処理の方法と一致しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント資産、負債の金額は、事業セグメントに配分していないため、開示しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報  
前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング事業	インベストメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,492,056	65,769	6,557,825	—	6,557,825
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,492,056	65,769	6,557,825	—	6,557,825
セグメント利益	645,650	52,837	698,488	△105,090	593,398
その他の項目					
減価償却費	24,267	—	24,267	—	24,267
のれん償却額	1,987	—	1,987	—	1,987

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,090千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング事業	インベストメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,359,495	729,057	9,088,552	—	9,088,552
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,359,495	729,057	9,088,552	—	9,088,552
セグメント利益	938,167	188,192	1,126,359	△114,957	1,011,402
その他の項目					
減価償却費	35,573	—	35,573	—	35,573
のれん償却額	5,048	—	5,048	—	5,048

(注) 1. セグメント利益の調整額△114,957千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）  
 該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

マーケティング事業において、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定について減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、合計53,515千円であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

連結会計又は会社合計						
	報告セグメント			その他	全社・消去	連結財務諸表 計上額
	マーケティング 事業	インバストメン ト事業	計			
当期償却額	1,987	—	1,987	—	—	1,987
当期末残高	25,241	—	25,241	—	—	25,241

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

連結会計又は会社合計						
	報告セグメント			その他	全社・消去	連結財務諸表 計上額
	マーケティング 事業	インバストメン ト事業	計			
当期償却額	5,048	—	5,048	—	—	5,048
当期末残高	20,193	—	20,193	—	—	20,193



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	388.85円	469.16円
1株当たり当期純利益金額	55.96円	98.68円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	53.56円	92.71円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	2,792,212	3,377,943
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	2,458	2,305
(うち新株予約権 (千円))	(2,458)	(2,305)
(うち非支配株主持分 (千円))	(-)	(-)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	2,789,754	3,375,638
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	7,174,315	7,195,015

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	399,768	708,820
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	399,768	708,820
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,143,906	7,182,956
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数 (株)	319,390	462,515
(うち新株予約権 (株))	(319,390)	(462,515)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第5回新株予約権 (新株予約権の数545個) 及び第6回新株予約権 (新株予約権の数600個) ※新株予約権1個の目的たる株式の数は、当社普通株式200株であります。	第5回新株予約権 (新株予約権の数525個) 及び第6回新株予約権 (新株予約権の数600個) ※新株予約権1個の目的たる株式の数は、当社普通株式200株であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。